

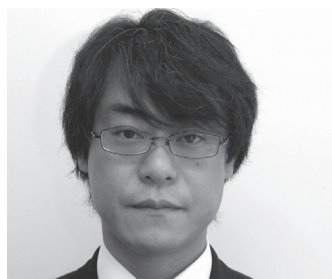
「子どもたちと一緒に守りましょう」

残念ながら、福島事故は、世界中の人間が、
チェルノブイリ事故をまだ十分には学んでいないことを証明しました。
原発事故の被害を最も受けやすいのは子どもです。
そして子どもたちの健康の保持に責任を持っているのは、私たち大人です。

ヴァチスラフ・マクシンスキー

(ベラルーシの保養施設「希望」所長 2012年12月 来日/「沖縄・球美の里」主催講演会より)

※チェルノブイリ子ども基金では1994年より「希望」を支援しています。



木村真三

1967年生まれ。放射線衛生学の専門家。放射線医学総合研究所、労働安全衛生総合研究所を経て、現在、獨協医科大学准教授。福島県内各地で放射線量を計測し、土壌や植物などのサンプルを採取。それをもとに、詳細な「放射能汚染地図」を作成。その模様はNHK ETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」で放映され大きな話題となった。2011年11月より二本松市に獨協大学福島分室を開設し、内部被ばくの影響調査を始める現場主義の研究者である。



広河隆一

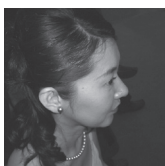
1943年生まれ。フォトジャーナリスト、DAYS JAPAN編集長。チェルノブイリ子ども基金設立者。1967年から3年間イスラエルに滞在。帰国後、中東・核の取材を続ける。レバノン戦争とパレスチナ人キャンプの虐殺事件の記録で、IOJ世界報道写真コンテスト大賞・金賞受賞。チェルノブイリとスリーマイル島原発事故の報告で、講談社出版文化大賞受賞。『写真記録パレスチナ』(日本図書センター)で日本写真家協会賞年度賞・土門拳賞受賞。著書に『チェルノブイリ報告』(岩波新書)、『チェルノブイリから広島へ』(岩波ジュニア新書)ほか多数。近著に『暴走する原発』(小学館)、『福島 原発と人びと』(岩波新書)。

弦楽四重奏団オブリジェ



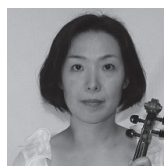
新行寺ひろ子(第1ヴァイオリン)

国立音楽大学卒業。大関博明、金子もも子の各氏に師事。「松戸市青少年とオーケストラの競演」にソリストとして出演。室内楽、オーケストラの奏者として活動。



松崎みを(第2ヴァイオリン)

武蔵野音楽大学卒業。鈴木愛子、掛谷洋三、ゲオルギ・バデフ各氏に師事。現在演奏活動、後の指導にあたる。



大山菜穂子(ヴィオラ)

武蔵野音楽大学卒業。千葉市を拠点に、あかちゃんから大人まで家族みんなで楽しめる「ぷう・あ・ぷうコンサート」、親子向け音楽祭「おとのバザール」、音楽鑑賞教室等の企画制作を手掛ける。東日本大震災チャリティとして「絵本コンサート」の他、講演会、各種イベント等を開催し被災地の子どもたちの支援を続けている。



藤塚紗也香(チェロ)

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学院修了。現在フリー奏者としてオーケストラ、室内楽などの演奏活動の他、音楽教室の講師として活動している。

チェルノブイリ子ども基金

広河隆一がチェルノブイリ取材中、現地の母親たちの呼びかけを受け、募金活動を始めたのをきっかけに、1991年4月に設立されました。これまでに医療機器、医薬品、ミルク、教材、放射線検知器のほか、救援物資数十トンが被災地に贈られています。また、1996年7月から毎年、チェルノブイリ事故被災児をベラルーシとウクライナのサナトリウムでの保養に招待しています。

http://homepage2.nifty.com/chernobyl_children/index.html

郵便振替口座：00160-4-98316 口座名：チェルノブイリ子ども基金

※他の金融機関からゆうちょ銀行へお振込の場合

店番：019 店名：〇一九店(ゼロイチキュー店)

預金種目：当座 0098316

未来の福島子ども基金

チェルノブイリ子ども基金の姉妹団体として2011年6月に設立されました。20年来行ってきたチェルノブイリ被災者支援の活動を、この福島原発事故に生かし、これまで、食品の放射能測定器とホールボディカウンターを支援する活動をすすめてきました。現在は福島の子どもの保養支援を中心に活動しています。

<http://fukushimachildrensfund.org/>

郵便振替口座：00190-0-496774 口座名：チェルノブイリから日本を考える会

※他の金融機関からゆうちょ銀行へお振込の場合

店番：019 店名：〇一九店(ゼロイチキュー店)

預金種目：当座 0496774